

北九州市学校給食審議会議事概要

- 1 会議名 令和4年度第1回北九州市学校給食審議会
- 2 議 題 給食及び給食費の状況について
- 3 開催日時 令和4年10月24日（月）14：00～15：00
- 4 開催場所 小倉北区役所庁舎東棟8階 812会議室

5 出席者氏名

【委員】（12名：順不同、敬称略）

小宮けい子、加塩大輔、原田圭子、鈴木佐代、白石美恵、三浦隆史、古森利香、
福田百合加、藏内保明、山口典子、東由美、横山智子

【事務局】（6名）

学校支援部長、学校保健課長、ほか関係職員

6 議事要旨

◆「給食及び給食費の状況」について事務局より説明。

【委員からの質問意見】

◇委 員 給食費は値上げの方向に進むのか、どのくらいの時期に行うのか。

◆事 務 局 今回の審議会はあくまで現状の報告を行うもの。前回の改定の際に、「3年を目途に見直し」ということで今年が3年目となる。今の給食や給食費の状況を説明したうえで、値上げの議論が必要かということも含めて意見をいただきたい。

◇委 員 小麦粉の価格が下がる目途が当面ないので、米飯給食を増やしてもらいたい。お米は国産で賄え、地元の食材を使うことで輸送費の削減ができる。100円、200円の値上げでも苦しい家庭がある一方、安心・安全を含め質は落としてほしくない。値上げせずに良いものを調達できないのか、パンと米の割合などシミュレーションしてもらいたい。安全・安心の部分で、異物混入に関し、機器や施設の老朽化もあると思うが、費用は業者が負担するのか。

◆事 務 局 給食調理業務の委託契約の中で、調理をする機械や器具は教育委員会が準備している。10月4日の異物混入事案では、調理で使う大きなザルが原因であったと考えており、教育委員会の責任で調査し、更新を行っていくということで検討を進めている。

◇委 員 食材を含め、機器の更新の部分についても直接同じ予算に響いてくるのか。

◆事 務 局 食材に関しては、保護者からの給食費の中で賄っており、機器の更新については市の予算である。

- ◇委員 教育委員会として機械器具の老朽化に対し、何年かに一度といったスパンで対応しているのか。
- ◆事務局 現状として、更新計画はなく、更新や修繕が必要な機械器具を個別で把握し対応している。しかし、今回異物の原因となったザルは使用から17年経っており、今までの対応内容が十分であったかどうかも含め、更新計画の策定の必要性を検討している。
- ◇委員 更新計画や点検スパンを決めるのが、安心できる給食につながると思うので、お願いしたい。
- ◇委員 食材業者の現状は、物資の原材料費が上がる中、小売価格には反映しにくく、コストをギリギリまで抑えながらやっており非常に厳しい。一方で異物混入等もある中で安全・安心な食材を確保しなければならない。また高齢化など様々な原因で、廃業など給食物資の登録から手を引く業者も増えており、保護者に負担をかけないということは非常に大事なことだが、供給する側の状況も踏まえながら、審議していただきたい。
- ◇委員 保護者からすると、価格の上昇は少しでも抑えてほしい一方で、有機食材等のより良い食材がほしいのも事実。値段の高くなる部分があるかと思うが、それを納入するために、牛乳はなしにするとか、米飯を学校で炊くなど他の方法がないのか。現在の業者が一つずつ炊いて出てくる方法では、炊き込みご飯の時に、炊かれたご飯に具材を自分で混ぜて即席を作る混ぜご飯となり、本物の炊き込みご飯ではないため、食育的にもどうなのか。パンの業者がご飯を炊くという部分も考え方を考える余地はないのか。
- ◆事務局 有機食材の話は、海外や全国の一部の自治体で給食に取り入れるといった動きがあるのは我々も把握している。ただ、現状で北九州市がどこまでできるかとなると、給食だけの問題ではなく、市の農林水産部局などと連携しながら考えていかなければいけない。価格を一部抑えて他に使えるのではないかとといったところで米飯の話が出た。今でも藍島小や河内小といった一部の学校は自校で炊いているが、他の学校についてはこれまでずっと一食の容器で炊いたものを提供している。一食ごとではなく、大量に炊いて、食缶に入れて学校でつぎ分けるような形をやっている自治体もある。そうすると炊き込みご飯なども提供できると聞いている。コストの面など、過去から一食炊飯でやってきた北九州市がそういった方向にシフトが可能なのか、食育につながるような提供の仕方なども含めてしっかり勉強していきたい。